

【日 時】 平成 26 年 2 月 17 日

【訪問先】 六浦南小学校 宮森輝行校長

【概 要】 児童数 391 名 15 学級 各 2 学級(6 年生 3 学級) 特別支援学級 2 組 職員数 19 名

【視察報告】

1、校長先生のモットー

『笑顔』子供たちの笑顔が毎日あふれていけばいじめもないし、先生たちも笑顔で接してくれば明るい学校になる。

2、英語・国際理解の取り組み

英語教育専門のボランティアはいない。全学年、全クラスが年に 4～5 回程度、国際理解のための授業を受けており、異文化に触れられる機会が多い。今年度はメキシコ人講師を招き、メキシコの小学生の 1 日の生活やメキシコ文化についての授業が行われた。

また日本語が不自由な子はおらず、学校生活において特別な措置はとっていない。両親が日本語を話せない場合があり、親子間でのコミュニケーションが課題となっている。

3、地域のボランティアの協力

博多ラーメンとして有名な「博多一風堂」の協力の下、子供たちと保護者が一緒に餃子作りに挑戦する体験学習が実施されている。また、元なでしこで、六浦南小学校の卒業生でもある矢野喬子さんによるサッカー指導も行われたことがある。生活支援員・非常勤講師として、関東学院の学生や本校卒業生に授業のアシスタントをしてもらっている。

4、地域との防災の取り組み

去年より避難訓練の一環として煙体験が行われている。消防署の方が煙でいっぱいにした教室を 5 人 1 組になって回るというもので、本当の火災時に近い状況での訓練が実施されている。(煙は体に害のないものが使用されています)

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

4 年生を対象とした上郷森の家での宿泊体験学習があり、みんなでカレーを作ったり、薪割りを体験したりすることで、集団行動の大切さを学んでいる。地域の歴史は大道小学校に行き行って学んでいる。

6、体力強化や部活動の取り組み

体力テストの結果課題となっている持久力の低下を克服するため、希望者が朝 8 時に登校し、10 分間の持久走をするという取り組みをしている。また、1～6 年生が一緒になって活動する縦割り班があり、その班で給食を食べたり、遠足へ行ったりするなど、異学年交流に力を入れている。

7、学校組織の強化や人材育成

いじめの早期発見・早期対応ができるように、職員同士協力して取り組んでいる。

8、その他

大学生のアシスタントティーチャーがいて、子供たちの学校生活をサポートしてくれている。

【所感】

高台に位置する六浦南小学校だが、急な坂道を登下校する児童は元気いっぱいだった。校長先生は穏やかで児童思いな方でした。学校からの眺めはとても美しく、ほのぼのとした雰囲気といきいきとした雰囲気に包まれている学校でした。

